

災害から身を守れ。

福井県池田町

防災

ハザードマップ

Fukui Ikeda Town Disaster Prevention Hazard Map

保存版





池田町での

過去の災害

目次

知る

池田町の取り組み	02	平成16年7月福井豪雨	04
大雨で洪水が発生する原因	03	土砂災害の種類	04
家屋倒壊等氾濫想定区域と浸水時間の長い区域	03	地震・雪崩	05

備える

身の回りの安全確認	07	ご近助防災	10
家の周りの安全確認	07	防災訓練の実施	10
非常持出品や非常備蓄品の準備	08	避難行動	11
家から避難場所までのルート確認	09	避難行動判定フロー	12
避難所生活の注意点	09		

動く

災害の心構えを高める・自らの避難行動を確認	13	命の危険 直ちに安全確保!	19
危険な場所から高齢者等は避難	15	地震発生!～避難の流れ～	21
危険な場所から全員避難	17	ご近助力アップをめざして	21

池田町の取り組み

いっどんな災害にあっても 自分と家族の『いのち』を守れる 池田町民に

災害時は、まず「自助」「ご近助」で乗り切る用意を!

災害時には、「自助」「ご近助」「公助」の3つが連携しながら機能することが必要です。
自分と家族の『いのち』を守り、そして、地域を守るため、皆さんの助け合いが大切です。

自助

個人・家族

自分の身は、自分で守る。

ご近助
(互助・共助)

地域

地域の人たちが力を合わせて協力する。

公助

国・県・町などの行政機関

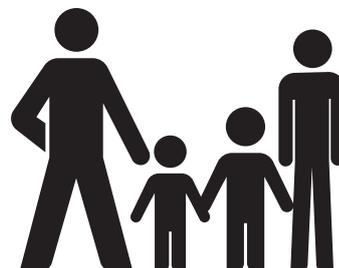
救助・援助など公的支援をする。

池田町の取り組み

ご近助防災

ご近所での助け合いの力「ご近助力」を活かした区・班単位での主体的な防災活動

詳しくは P10





大雨で洪水が発生する原因



積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」なとき(上空に冷たい空気、地上に温かい空気の層があるとき)に発生します。

積乱雲が近づくサイン



真っ黒な雲が近づいてくる。

急に冷たい風が吹いてくる。

雷の音が聞こえてくる。

まもなく、激しい雨と雷がやってきます。河川や低い場所からすぐ離れましょう。

前線の停滞、台風の接近

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。また、台風は進行方向に向かって右側が特に危険といわれています。



線状降水帯

線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50~300km程度、幅20~50km程度の強い降水をともなう雨域です。



家屋倒壊等氾濫想定区域と浸水時間の長い区域



✓ 氾濫流



堤防決壊などにより、一般的な構造の木造家屋が倒壊するおそれがある区域です。早期の立退き避難が必要です。

✓ 河岸侵食



川の流れる勢いにより、家屋の基礎を支える地盤が削りとりられ、木造・非木造の家屋が倒壊するおそれのある区域です。早期の立退き避難が必要です。

✓ 浸水時間の長い区域



浸水の深さが50cm以上になってから、50cmを下回るまでの時間が長い区域です。ライフラインが絶たれ、避難生活が困難になるおそれがあるため、早期の立退き避難が必要です。

平成16年7月福井豪雨



気象状況

福井県の嶺北では、北陸地方に停滞した活発な梅雨前線の活動によって18日の0時過ぎから所々で激しい雨を観測し始め、降り始めからの総降水量は、嶺北北部の美山町で285mmとなりました。この雨で、池田町では停電・断水等のライフラインの被害や土石流災害が発生するなど、大きな被害が発生しました。

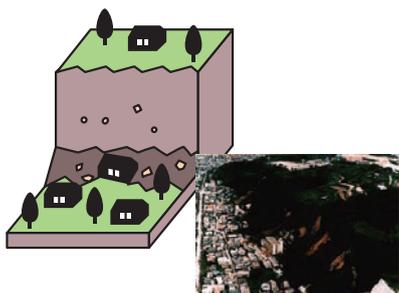


美山町蔵作地区で発生した土石流
〔写真提供／福井県土木部〕

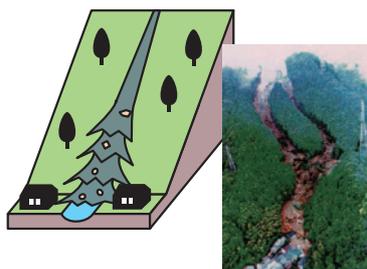


堤防が決壊し濁流に襲われる市街地
〔写真提供／近畿地方整備局河川部〕

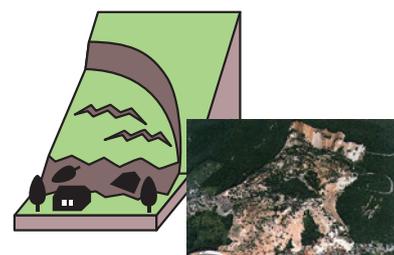
土石災害の種類

 がけ崩れ


斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透などにより、突然、崩れ落ちる現象です。崩れ始めてから、崩れ落ちるまでの時間がごく短く、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、人命を奪うことの多い災害です。

 土石流


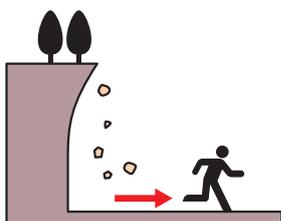
山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまう災害です。

 地すべり


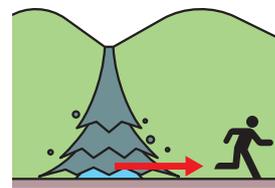
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。移動する土塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼす災害です。

がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面から平らなところで、がけの高さの2倍の距離まで達するといわれています。危険を感じたら、がけからできるだけ遠くに逃げましょう。


土石流のおそれがある場合

谷沿いの低い土地から離れましょう。土石流のスピードは、とても速いため、土石流を見たら、流れる方向に対して、直角に逃げましょう。また、土石流が曲がる箇所では、かなり高い位置まで土石流がかけ上がります。曲がり角の外側は内側より危険です。



福井地震



写真：「福井地方気象台アルバム『地震（福井地震）』所収
だるま屋百貨店（福井市内）福井県立歴史博物館提供
現在）福井市中央1丁目7付近

1948年（昭和23年）6月28日午後4時13分、福井平野を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。震源近傍では住家の全壊率100%の集落が多数出現し、3年前の福井空襲から復興途上にあつた福井市でも全壊率は80%を超えるほどで、内陸で発生し都市を直撃した強い活断層地震でした。死者は3,728人、全壊35,382戸という大きな被害をもたらし、震度7を創設するきっかけとなった強い地震動でした。

濃尾地震

1891年（明治24年）10月28日午前6時37分、岐阜県本巣市を震源とするマグニチュード8.0の日本史上最大の直下型地震が発生しました。地震の及んだ範囲は西は九州全土に、東は東北地方にまで達しました。中でも激震地域は岐阜県的美濃地方を中心に、愛知県尾張地方、滋賀県東部、福井県南部に及びました。死者は全国で7,273人、全壊・焼失家屋142,000戸という大きな被害をもたらしました。



写真：「濃尾大震災写真『大垣郭町ノ裏』岐阜県図書館提供」



池田町で大きな被害を及ぼす可能性があるのは岐阜県を中心とした直下型の濃尾地震（温見断層）です。



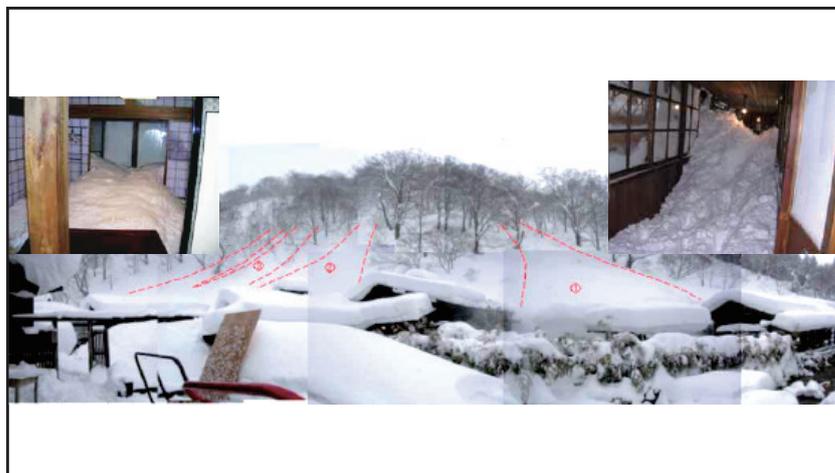
雪崩

雪崩災害に遭わないために

～雪崩が発生しやすいケースは急斜面や植生がまばらな場所など。

気象条件や前兆現象にも要注意！～

雪崩はとても速く、発生に気付いてから逃げることは困難です。身を守るためには、前もって雪崩が発生しやすいケースを知っておくことが重要です。



秋田県仙北市田沢湖町 鶴の湯温泉
(写真：国土交通省)

❗ 発生しやすい場所は **急な斜面！**

一般的に、スキーの上級者コースと同程度の30度以上の傾斜になると発生しやすくなり、特に35～45度が最も危険とされています。高木が密に生えている斜面では雪崩が発生しにくい一方、低木林やまばらな植生の斜面では雪崩発生の危険が高くなります。笹や草に覆われた斜面などは裸地よりも発生しやすい地形です。

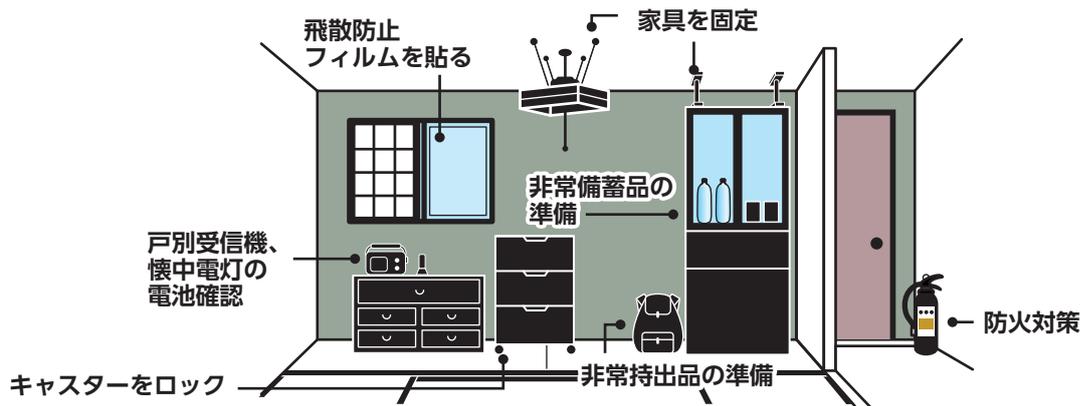
雪崩による事故

日ごろから危険箇所や気象情報をチェックし、雪崩の前兆を発見したらすぐに役場や警察署へ通報してください。





身の周りの安全確認



家の周りの安全確認



窓

- 窓枠のがたつきはないか
- 雪囲いのがたつきはないか

屋根

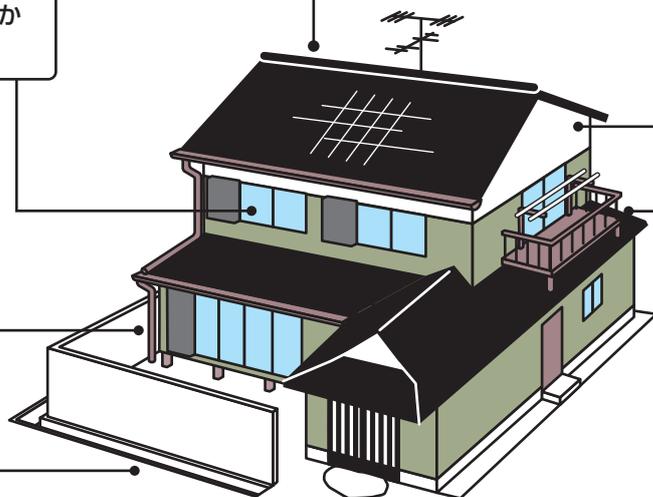
- TV・衛星のアンテナは不安定ではないか
- 屋根がめくれていないか
- 屋根のひび・割れ・はがれがないか

外壁

- 戸別受信機のアンテナのはがれがないか (設置世帯のみ)

雨どい

- 雨どいに落ち葉などが詰まっているか
- 継ぎ目のはずれや塗装のはがれ・腐りはないか



ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか

排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっているか

その他

- ゴミ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか
- 庭木には添木をしているか
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか
- ブロック塀は崩れそうにないか
- 商店などでは看板のぐらつきがないか

家屋の浸水を軽減する方法

浸水発生時には土のうや水のうが有効です。

水深が浅い初期の段階なら、簡易水のう（水を入れたごみ袋）を入れた段ボールを並べて、ブルーシート（レジャーシート）で包んだものを作成し、浸水を防ぐ、簡易水防工法も有効です。

非常持出品や非常備蓄品の準備

非常持出品

食料

- 飲料水
- 非常食
(火を通さず食べられるもの)
- 粉ミルク等、哺乳瓶
(赤ちゃんがいる場合)

衣類など

- 衣類 (厚手のものと薄手のもの)
- 下着類
- タオル
- 手袋、軍手
- 雨具

貴重品

- 現金 (小銭)
- 預金通帳、印鑑
- クレジットカード
- 免許証、保険証
- マイナンバーカード

救急・安全対策用品

- 持病薬、常備薬、傷薬
- 包帯、ガーゼ、絆創膏、消毒液
- 携帯ブザー、ホイッスル
- 地図 (ハザードマップ)
- 歯磨きセット

日用品

- | | | | |
|---|---|--------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> チャック付ポリ袋 (ビニール袋) | <input type="checkbox"/> 携帯電話 | <input type="checkbox"/> 携帯トイレ | <input type="checkbox"/> アイマスク |
| <input type="checkbox"/> 万能ナイフ | <input type="checkbox"/> 電池、充電器 (バッテリー) | <input type="checkbox"/> 紙おむつ | <input type="checkbox"/> 耳栓 |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ、ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 筆記用具 (油性マジック) | <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> 汗拭きシート |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> メガネ | <input type="checkbox"/> ドライシャンプー |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ、戸別受信機 | <input type="checkbox"/> 簡易食器 (割り箸、紙皿) | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 内履き (スリッパ) |

非常備蓄品

日頃の買い置き

保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い足す (ローリングストック法)

3日分以上の食料

缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど

飲料水

大人1人当たり
1日2~3リットル

カセットコンロ・ガスボンベなど

缶切り

ラップ

ローリングストック法も活用しましょう

非常食は3日分、できれば7日以上、水は1人1日3リットルを備蓄。普段購入している食料品や水などを多めに買って、使いながら備える「ローリングストック法」も活用しましょう。

ローリングストック法



避難所に行っても...

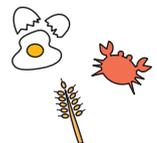
支援物資が届くのに3日間かかるといわれています。自分や家族が少なくとも3日間、できれば7日間は過ごせるだけの食料品や水を備蓄しておきましょう。

備蓄POINT!



災害時には生のものが食べられなくなります。栄養バランスが崩れないように栄養を補う備蓄をしましょう。

高齢者、子供、アレルギー体質の家族がいる場合、それぞれに合った食料の用意をしましょう。



冷蔵庫の中のものは備蓄になります。災害時には日持ちしないものから食べましょう。



家から避難場所までのルート確認



避難場所はどこか知っていますか？

避難場所までの行き方を確認し、実際に歩いたり、車でドライブをしてみることも、今すぐ実行できることのひとつです。



町が指定している
避難場所と
区や班で決めた
避難場所を
確認しましょう

避難所生活の注意点



食糧

災害直後は、避難所の運営が始まったばかりで食糧の配給まで手が回らないことも予想されます。3日目以降になると、炊き出しなどが始まると考えられますが、食糧は要配慮者から優先して配給される可能性があります。3日間はしのげるように、水・非常食を持出袋に入れておきましょう。



トイレ・お風呂

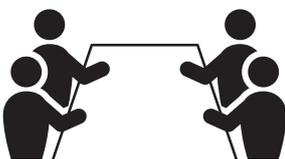
トイレが汚いとノロウイルスなどが蔓延するおそれがありますので、掃除当番を決め、定期的にトイレ掃除を行いましょう。また、トイレが使用できない可能性もありますので、携帯トイレや簡易トイレなどを備蓄しておきましょう。お風呂に入れない時は、ドラッグストアなどで売られている汗拭きシートやドライシャンプーを使用しましょう。災害時に貴重となる水を使用せずに、身体を清潔に保つことができます。



集団生活の注意点

避難所の生活ではルールを守り、避難者もできる限り役割分担をして助け合いながら生活しましょう。避難生活が長期化するとストレスがたまり、トラブルが起こりやすくなります。

特に夜は、会話、光漏れ、いびき、歯ぎしり等によって睡眠不足につながる可能性もあります。眠るときにはアイマスクや耳栓で光・音対策をしましょう。



暑さ寒さ対策

自分自身である程度の寒さ対策や熱中症予防を行うことが可能です。首の後ろ、ワキの下を冷やしたり温めたりすることで、体温調節を促すことができます。暑いときは首の後ろ・ワキの下に保冷剤をあてたり、また、寒いときは首にマフラーやタオルを巻いたり、脇の下にお湯を入れたペットボトルを挟んだりする方法があります。



ご近助防災

気づく

身近な危険に
自分達で
早く気づく

助ける

自力で避難
できない人の
支援を行う

逃げる

迅速かつ
漏れない
避難を行う

- 防災隊長の選任
- 危険箇所の把握
- 区内での情報共有

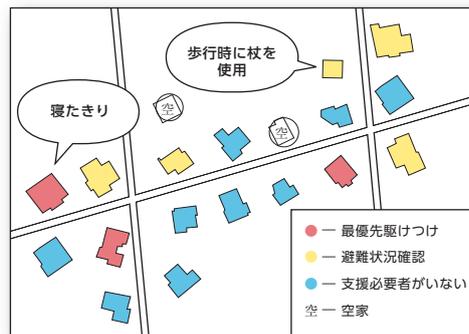
- ご近助避難計画の作成
世帯員名簿の作成
ご近助防災マップの作成
避難方法の確認

世帯員名簿とご近助防災マップは区長や防災隊長が中心となって年に1回更新作業を行っています。更新作業へのご協力をお願いいたします。

世帯員名簿のイメージ

世帯 No. 5						
世帯員名簿						
世帯主：池田 太郎 屋号：やくば 住所：池田町稲荷 35-4 世帯員総数：5名						
世帯員氏名	生年月日	性別	緊急時電話番号	支援必要者	備考	
池田 太郎	S20.5.5	男	0778-44-XXXX	○ 歩行介助・声かけ その他 ()	歩行時に杖を使用	
池田 花子	S25.3.3	女	090-XXXX-XXXX	△ 歩行介助・声かけ その他 ()		
池田 一郎	S49.7.7	男	090-XXXX-XXXX	○ 歩行介助・声かけ その他 ()		
池田 冬子	S53.5.15	女	080-XXXX-XXXX	○ 歩行介助・声かけ その他 ()		
池田 タカシ	R1.12.25	男	0778-44-XXXX	○ 歩行介助・声かけ その他 ()		

ご近助防災マップのイメージ



防災訓練の実施



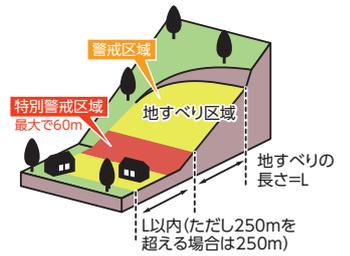
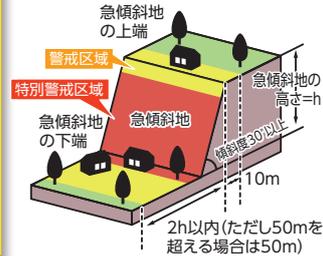
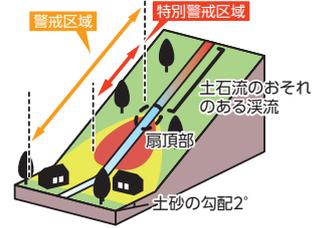
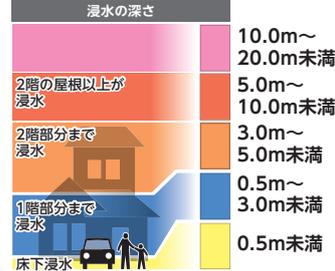
近年、全国各地で震災・台風・局地的大雨での自然災害が多く発生しているため、日ごろから家庭や地域で災害に対する備えが必要です。町では、いつ発生するかわからない災害に備えて、住民参加型の防災訓練を実施していますので、積極的に参加しましょう。



避難行動



ハザードマップの見方



- 1 家がある場所に色が塗られている（浸水の深さ、土砂災害のおそれ）か確認しましょう。
- 2 色が塗られている箇所は危険な場所です。※原則として立退き避難が必要です。
- 3 危険な場所にいる方は、警戒レベル3で高齢者等は避難、警戒レベル4で全員避難です。



警戒レベルと避難行動の説明

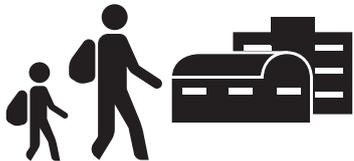
避難情報等（警戒レベル）

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難！ ~~~~~			
<b>4</b>	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水 注意報
<b>1</b>	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

別紙【わが家のマイ・タイムライン作成シート】に防災気象情報（警戒レベル相当情報）を記載しています。そちらも併せてご確認ください。

# 避難行動判定フロー

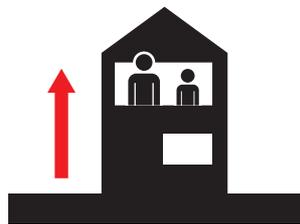
## ✓ 水平避難（立退き避難）



時間に余裕がある場合は、近隣の避難先ではなく、川から離れ、より安全な場所に避難しましょう。

※避難先は小中学校・公共施設だけではありません。安全な場所にある親戚・知人宅や宿泊施設に避難することも考えてみましょう。

## ✓ 垂直避難（屋内安全確保）



急激な降雨や浸水により屋外での避難行動が困難な場合、浸水による建物の倒壊の危険がないことを確認し、自宅や隣接建物の2階以上へ避難しましょう。逃げ遅れた場合は、がけと反対側の上階へ向かってください。

## 警戒レベル別避難行動フロー

はい



いいえ



### 1 気象情報に注意

### 2 避難に備える・避難行動の確認

3  
避難  
高齢者等

あなたまたは一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？  
(避難行動要支援者など)

→ 医療的支援などが必要ですか？

→ 福祉避難所へ (ほっとプラザ)

→ 指定緊急避難場所 (兼指定避難所) へ

→ 自宅待機 防災情報や気象情報に注意しましょう

移動方法はご家族、区長、防災隊長などにご相談ください

4  
避難指示

被害の遭わないところに、親戚や知人など身を寄せることのできる場所がありますか？

→ マイ避難場所へ (親戚・知人宅・宿泊施設など)  
行先は区長、防災隊長に伝えましょう

→ ご近助避難場所 (区や班で決めた避難場所) で待機

→ 指定緊急避難場所 (兼指定避難所) へ  
区長、防災隊長の指示に従い集落全体で避難

区長、防災隊長の指示に従い、ご近助避難場所 (区や班で決めた避難場所) に集合

ご近助避難場所 (区や班で決めた避難場所) は被害の遭わないところですか？

### 5 緊急安全確保

被災後の避難先	在宅避難	福祉避難所	マイ避難場所	指定避難所
被災後の避難先	自宅の被害状況や生活環境を確認し、自宅で生活可能な場合は帰宅し、在宅避難をしましょう。	家族に要配慮者などがいて、医療的支援などが必要な場合は町の指示に従い福祉避難所へ避難しましょう。	親戚・知人宅に身を寄せることのできる場所がある人は、マイ避難場所へ避難しましょう。	その他の方は、町の指示に従い指定避難所に避難しましょう。



# 災害の心構えを高める・自らの避難行動を確認



ご近助防災活動

警戒レベル

1・2



## 町民の行動

### ● 情報収集

・P14を参考に防災情報、気象情報の確認を行う。

### ● 身の回り、家の周りの安全確認 P07

### ● 高齢者等避難準備

・避難に時間を要する方は避難準備を行う。

### ● 避難行動の確認 P11～12



## 区長・防災隊長の行動

### ● 区内、ご近所の状況確認

・最優先駆けつけ世帯（赤色）の状況確認を行う。  
・P13を参考に土砂災害の前兆現象がないか確認を行う。（危険を感じた場合はご近所の方を避難させる。）

### ● 区内、ご近所の情報共有

### ● 避難準備・要支援者の所在確認

・最優先駆けつけ世帯（赤色）の避難準備を行う。  
・ご近助避難場所（区や班で決めた避難場所）の開設準備をする。



## 役場

### ● 情報収集

### ● 情報発信

### ● パトロール

### ● 避難場所開設準備

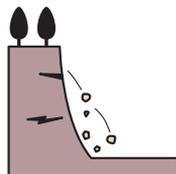
### ● 災害警戒本部設置



## 土砂災害の前兆現象



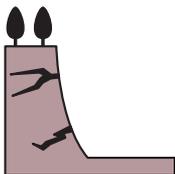
がけから水が湧き出ている



がけから小石がパラパラ落ちてくる



急に川の水がにごり流木が混じる



がけに割れ目が見える



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



## 災害危険度の確認方法

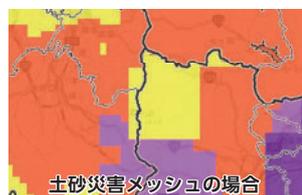
### ● キキクル（危険度分布）でお住まいの地域の状況を確認しましょう。

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報*が出されたら、お住まいの地域の状況が総合的かつ、詳細にわかる情報「キキクル（危険度分布）」を確認してください。（土砂災害：メッシュ単位、浸水害：メッシュ単位、洪水：河川単位）災害危険度を5段階で色分けしており、

色が塗られていない箇所は、今後の情報などに留意してください。  
黄色（警戒レベル2相当）は大雨による災害への注意が必要です。

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

*市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。



キキクル

検索



テレビのニュース番組などで比較しましょう

危険度分布色を持つ意味

極めて危険

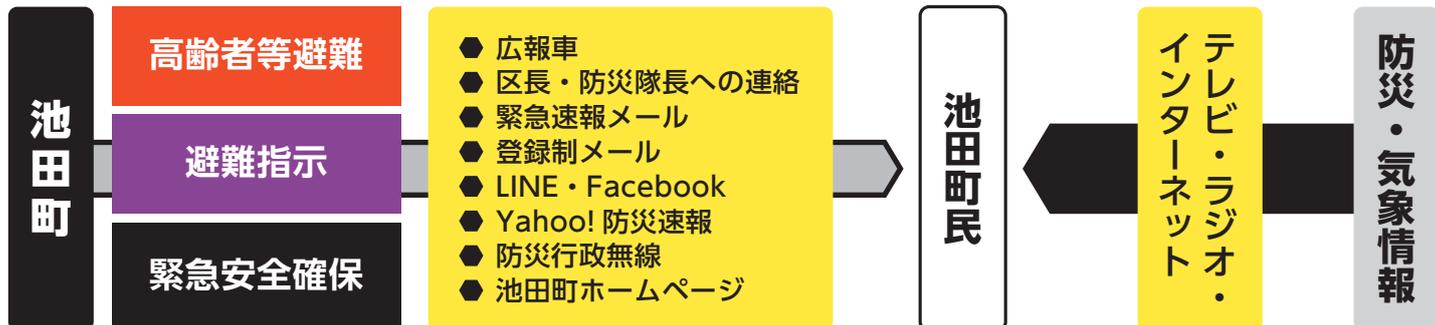
非常に危険

警戒

注意

今後の情報に留意

## 警戒レベル 1・2



## わたしたちに届く情報

## 緊急速報メール (エリアメール)

携帯電話に、防災情報などが配信されます。



## 登録制メール

登録者に防災情報などが配信されます。空メールを送信後、登録用URLが記載されたメールが届きますので、登録手続きを進めてください。



## i-ame メール (福井県河川・砂防総合情報メール)

河川や土砂災害の危険情報が配信されます。



## LINE

@fukui-ikeda

ID検索

友だち登録者に防災情報などが配信されます。



## 防災行政無線

戸別受信機と屋外拡声局に防災放送を行います。町ホームページ上からも防災行政無線で放送した内容が確認できます。



## Yahoo! 防災速報 (アプリ)

防災情報や気象情報などが配信されます。



自動電話対応システム

0778-44-9000

●聞き逃した場合  
●もう一度聞きたい場合

## わたしたちが集める情報

## テレビ・ラジオ

テレビは、dボタンから防災情報や気象情報が確認できます。ラジオは、停電時の情報入手に有効です。



## 池田町ホームページ

<https://www.town.ikeda.fukui.jp/>



## Facebook

<https://m.facebook.com/fukuiikeda/>



防災情報や緊急情報などを確認できます。

## 福井県河川・砂防総合情報

<http://ame.pref.fukui.jp/>



## 国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp/index>



雨量観測情報、水位観測情報、河川カメラ画像を確認できます。

## 福井県防災ネット

県内の様々な防災情報が確認できます。積雪深観測情報や道路カメラ画像で積雪状況なども確認できます。



## 福井県水害ハザード情報

大雨などにより河川が氾濫した場合に浸水が想定される浸水想定区域、過去の浸水実績、浸水写真、避難所などの情報を掲載した地図を水害ハザード情報で公開しています。



詳細な浸水深が知りたい人は



# 危険な場所から高齢者等は避難



ご近助防災活動

警戒レベル

3



## 町民の行動

### ● 情報収集

・P14を参考に防災情報、気象情報の確認を行う。

### ● 避難支援

・区長、防災隊長と協力して高齢者等を避難させる。

### ● 高齢者等避難

・避難に時間を要する方は避難を行う。

### ● 避難準備

・世帯全員の避難準備を行う。(危険を感じた場合は避難する。)

### ● 避難行動の確認 P11~12



## 区長・防災隊長の行動

### ● 区内、ご近所の状況確認

- ・避難状況確認世帯(黄色)の状況確認および支援者の所在確認を行う。(支援者がいない方や避難に時間を要する方は避難させる。)
- ・P13を参考に土砂災害の前兆現象がないか確認を行う。(危険を感じた場合はご近所の方を避難させる。)

### ● 高齢者等避難

・最優先駆けつけ世帯(赤色)を避難させる。

### ● 避難準備

- ・ご近所の方に避難準備の声かけを行う。
- ・ご近助避難場所(区や班で決めた避難場所)を開設する。

### ● 区内、ご近所の情報共有



## 民生委員の行動

### ● 避難行動要支援者の状況確認

・避難行動要支援者台帳に掲載されている方の避難状況や支援者の所在を確認する。

### ● 避難行動要支援者の避難

・避難を希望または避難が必要と判断した場合は避難を手助けしてくれる人(区長、防災隊長、ご近所の方、役場、社会福祉協議会)に繋ぐ。



## 役場

● 情報収集

● 情報発信

● パトロール

● 避難場所開設運営

● 避難誘導

● 災害対策本部設置



## 災害危険度の確認方法

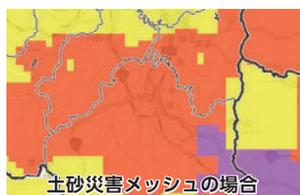
### ● キキクル(危険度分布)でお住まいの地域の状況を確認しましょう。

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報*が出されたら、お住まいの地域の状況が総合的かつ、詳細にわかる情報「キキクル(危険度分布)」を確認してください。(土砂災害:メッシュ単位、浸水害:メッシュ単位、洪水:河川単位) 災害危険度を5段階で色分けしており、

**赤色(警戒レベル3相当)は大雨による災害への警戒が必要です。**

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

*市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。



キキクル

検索



テレビのニュース番組などで比較しましょう

危険度分布色を持つ意味

極めて危険

非常に危険

警戒

注意

今後の情報に留意

## 警戒レベル 3 高齢者等避難



## 避難行動要支援者の避難先

- ・町が一番最初に開設する指定緊急避難場所（兼指定避難所）へ避難しましょう。
- ・医療的支援等が必要な方は福祉避難所（ほっとプラザ）へ避難しましょう。

※医療的支援等が必要か判断に迷う場合は、ほっとプラザ（0778-44-8000）に連絡しましょう。

※避難行動要支援者を避難させた場合は、安否確認がスムーズに行えるように区長、防災隊長、民生委員、ご近所の方と情報共有を行いましょ。

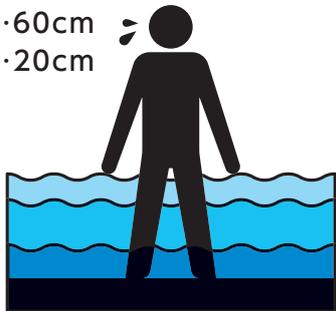
## 避難時の心得

## 浸水が始まる前の早めの避難行動を

浸水が始まると、浸水が浅くても移動が困難になります。気象情報や河川の水位情報をもとに、身の危険を感じたら直ちに避難しましょう。避難先まで距離がある場合は、道路が浸水する前にご近所の方と車に乗り合わせて避難しましょう。

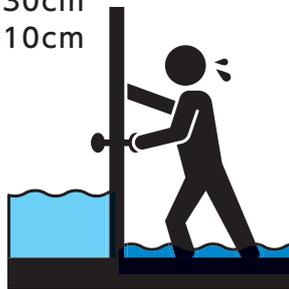
## 徒歩が困難になる浸水の深さ

成人…60cm  
子供…20cm



## ドアが開かなくなる浸水の深さ

成人…30cm  
子供…10cm



## 車が止まってしまう浸水の深さ

車種によってはタイヤの半分くらいでエンジンが止まることもあります。



## 避難の準備をしましょう（避難時の服装）

ヘルメット・防災ずきん  
（なければ帽子）

軍手・手袋

リュックサック  
（両手が使えるように）

長そで、長ズボン

水害の時はこんな工夫もあります

小さい子どもが流されないように



厚底のはきなれた靴

※長靴は脱げやすく、水が入った時たまってしまうため禁止

## 家を出る時の注意点

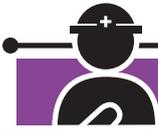


ガスの元栓を閉める。

ブレーカーを落とす。



外出中の家族・ご近所に知らせるために家のドアの前に避難先などの連絡メモを残す。



# 危険な場所から全員避難



ご近助防災活動

警戒レベル

4



## 町民の行動

### ● 避難

- ・P12を参考にご近助避難場所（区や班で決めた避難場所）や指定緊急避難場所など安全が確保できる場所に避難する。

### ● 避難支援

- ・区長、防災隊長と協力してご近所の方と一緒に避難する。

### ● 避難場所の運営・協力

- ・ご近助避難場所の運営に協力する。



## 区長・防災隊長の行動

### ● 避難

- ・P12を参考に区民をご近助避難場所（区や班で決めた避難場所）や指定緊急避難場所など安全が確保できる場所に避難させる。

### ● 避難状況の確認

- ・ご近助防災マップと世帯員名簿を使用して、逃げ遅れがないかの確認および情報共有を行う。

### ● 避難場所の運営・協力

- ・ご近助避難場所を運営する。
- ・指定緊急避難場所の運営に協力する。



## 民生委員の行動

### ● 避難行動要支援者の避難状況確認

- ・区長、防災隊長、役場、社会福祉協議会と情報共有を行い、逃げ遅れがないか確認する。

### ● 避難場所の運営・協力

- ・ご近助避難場所の運営に協力する。
- ・指定緊急避難場所の運営に協力する。



## 役場

● 情報収集

● 情報発信

● パトロール

● 避難場所開設運営

● 避難誘導

● 災害対策本部運営



## 災害危険度の確認方法

キキクル

検索



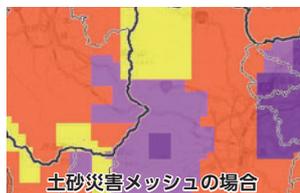
### ● キキクル（危険度分布）でお住まいの地域の状況を確認しましょう。

テレビのニュース番組などで比較しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報※が出されたら、お住まいの地域の状況が総合的かつ、詳細にわかる情報「キキクル（危険度分布）」を確認してください。（土砂災害：メッシュ単位、浸水害：メッシュ単位、洪水：河川単位）災害危険度を5段階で色分けしており、

**うす紫色（警戒レベル4相当）は大雨による災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です。**

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。



危険度分布色を持つ意味

極めて危険

非常に危険

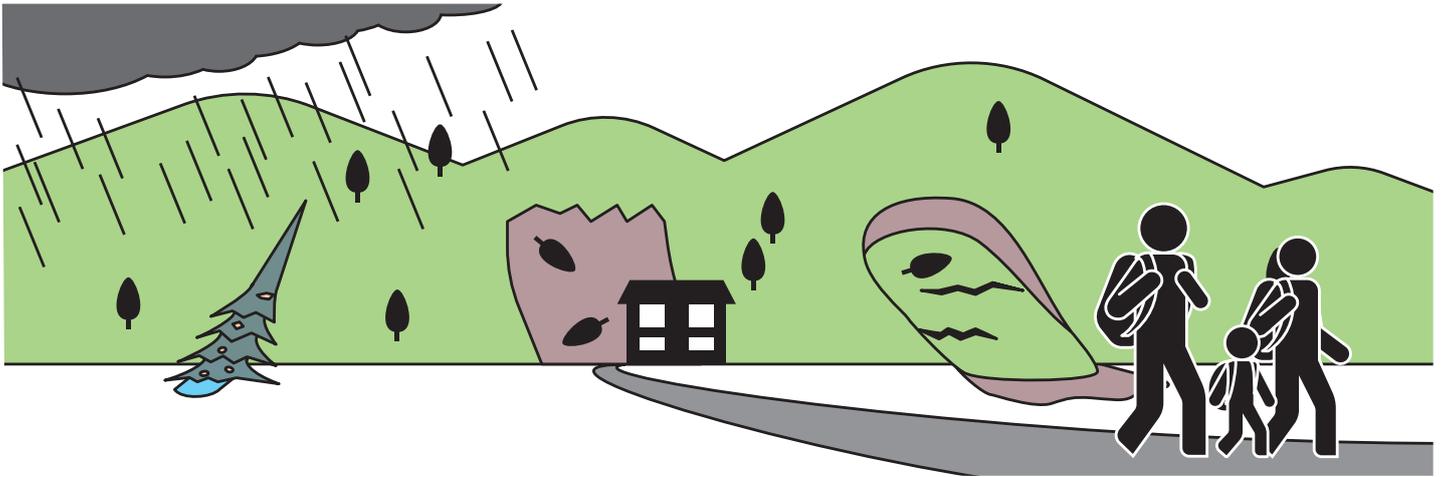
警戒

注意

今後の情報に留意

※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。

## 警戒レベル 4 避難指示



## 避難時の心得

## 浸水が始まる前の早めに避難行動を

避難するときは、ご近所で声をかけ合い、なるべく複数人で避難するようにしてください。危険な場所は避けて、遠回りでも安全な道を歩いてください。

## 移動は2人以上で、みんなで助け合って避難を



単独行動は、いざというときに助け合えません。避難する時はご近所のお年寄りや障がいのある方に声をかけ、協力して避難しましょう。

## 避難は動きやすい服装で



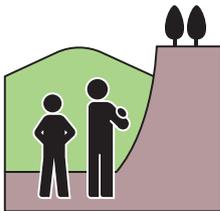
長靴やサンダルは危険です。運動靴をはき、両手が自由になるよう持ち物はリュックサックに入れて避難しましょう。

## 夜間の避難は要注意！



夜間の避難は周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しましょう。

## 危険な場所には近づかない



河川の近くは浸水の可能性が高く、危険です。また、斜面は崩れ落ちる危険があるので、近づかないようにしましょう。

## 水の流れのある場所には近づかない

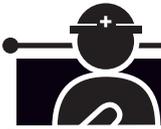


ゆるやかな流れでも、ひざの高さになると大人でも歩くのが困難です。小さな河川や水の流れのある場所に近づかないようにしましょう。

## 浸水している場所には注意が必要



浸水している場所は水が茶色く濁り、水路と道路の境や側溝、ふたが開いているマンホールの穴は見えません。やむを得ず水の中を移動をするときは、棒で足下を確認するなど、注意しながら移動しましょう。



# 命の危険 直ちに安全確保！ ※既に安全な避難が出来ず危険な状態



## ご近助防災活動

## 警戒レベル

# 5



### 町民の行動

#### ● 緊急安全確保

- ・もしも逃げ遅れた場合は P20 を参考に自身や家族の安全を確保し救助を要請する。

#### ● 避難場所の運営・協力

- ・ご近助避難場所の運営に協力する。



### 区長・防災隊長の行動

#### ● 救助要請

- ・もしも逃げ遅れがあった場合は避難場所などの安全が確保できる場所で救助を要請する。決して助けには行かない。

#### ● 避難場所の運営・協力

- ・ご近助避難場所を運営する。
- ・指定緊急避難場所の運営に協力する。



### 民生委員の行動

#### ● 救助要請

- ・もしも避難行動要支援者の逃げ遅れがあった場合は避難場所などの安全が確保できる場所で救助を要請する。決して助けには行かない。

#### ● 避難場所の運営・協力

- ・ご近助避難場所を運営に協力する。
- ・指定緊急避難場所の運営に協力する。



### 役 場

● 情報収集

● 情報発信

● パトロール

● 災害対策本部運営

● 避難場所運営

● 救助サポート



### 災害危険度の確認方法

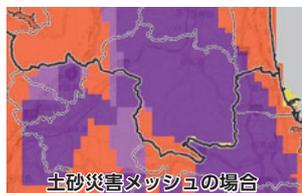
#### ● キキクル (危険度分布) でお住まいの地域の状況を確認しましょう。

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報※が出されたら、お住まいの地域の状況が総合的かつ、詳細にわかる情報「キキクル (危険度分布)」を確認してください。(土砂災害:メッシュ単位、浸水害:メッシュ単位、洪水:河川単位) 災害危険度を5段階で色分けしており、

**濃い紫色 (警戒レベル5相当) は大雨による災害がすでに発生していてもおかしくない極めて危険な状況です。**

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。



キキクル

検索



テレビの  
ニュース番組などで  
比較しましょう

危険度分布  
色が持つ意味

極めて危険

非常に危険

警戒

注意

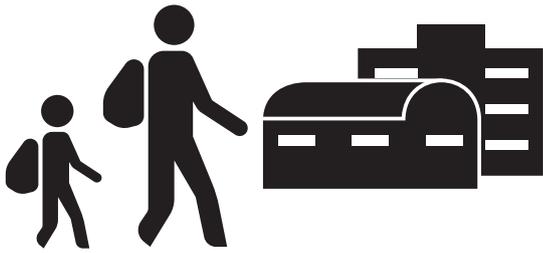
今後の  
情報に留意

## 警戒レベル 5 緊急安全確保

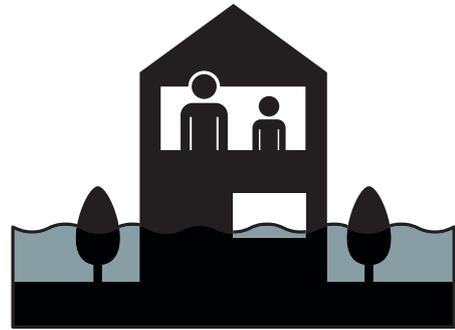


## もしも逃げ遅れたら ...

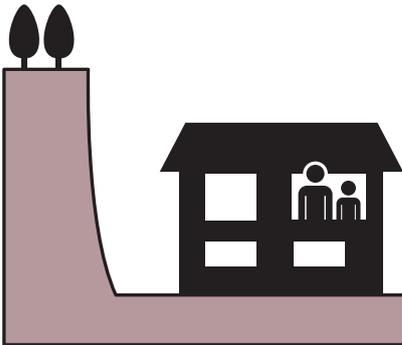
近隣の高く堅牢な建物へ移動  
※自宅・施設等よりも相対的に  
安全であると判断した場合



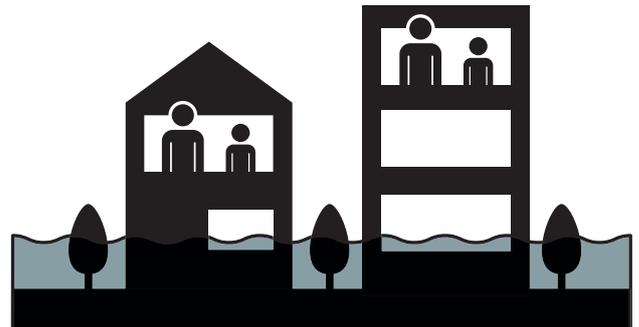
## 上階へ移動



## がけから離れた部屋に移動



## 上層階に留まる



## 避難支援の心得

避難支援は、支援者自身や家族の安全を守ることが最優先です。避難支援は可能な範囲でお願いするものであり、支援者が責任や義務を負うものではありません。避難支援の際に少しでも危険を感じたら無理はせずに役場または消防に連絡をしましょう。

災害の通報



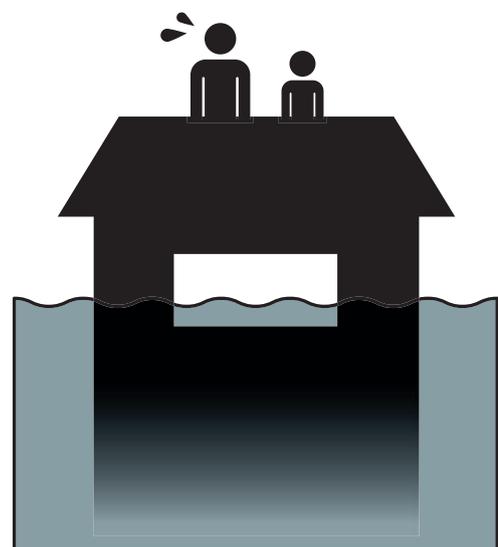
役場に

救助の要請



消防に

## 自宅の少しでも高い場所に移動





## 地震発生！～避難の流れ～



### 災害発生時の行動 1 ～頭を守ることが第一～

可能であれば、  
片ひざを立てる

姿勢を低くして、頭を守り、じっとする。



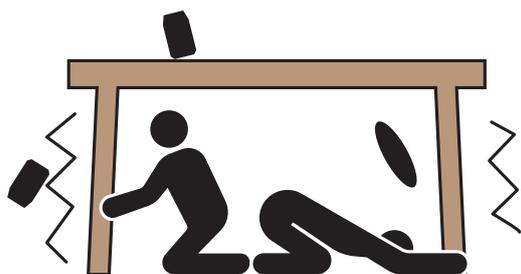
OFF!!



あわてずに火の始末をする。

※避難の前に電気ブレーカーを  
落とし、ガスの元栓を閉める。

揺れがおさまったら…



避難ルートを確認。

## ご近助カアツプをめざして



水害や雪害などの進行型災害、地震などの突発型災害、どちらの災害も発災のタイミングが変わるだけで、避難(救助)活動に最も必要なものは「ご近助力」です。「ご近助力」は、ご近所での助け合いの力そのものであり、集落活動などで培われます。普段から、ご近所同士で声をかけ合う、集落の課題や困りごとは積極的に話し合うなど、ご近所の方と顔の見える関係を築いておきましょう。

写真：集落の課題や自治について話し合う  
「ちょっといいですか？まちの話」

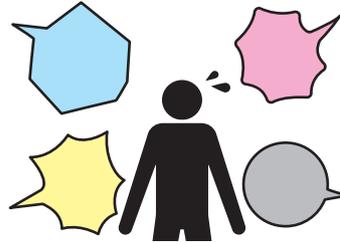


## 災害発生時の行動 2 ～それぞれの状況に応じて避難～

水害時も  
同様です！

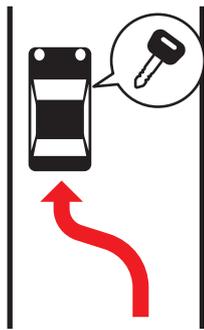


家が倒れそうだったり、近隣に大きな火災が発生したら、避難場所や広い場所へ避難する。



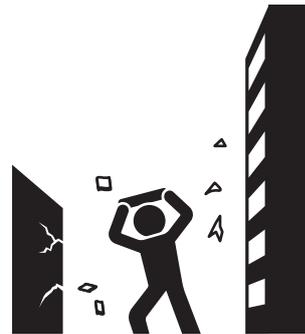
正しい情報を集め、デマやウワサにまどわされない。

### 車に乗っているとき



道路の左側に停止。キーをつけたままにして揺れがおさまったら徒歩で避難する。

### 外出先



ブロック塀や石壁、門柱から離れ、屋根瓦などの落下物に注意する。

# わが家の防災メモ

## ◇ いざという時の連絡先

名称	電話番号	名称	電話番号
消防・救急	119	電気 北陸電力 送配電(株)	0120-837119
警察	110	ガス ご使用のガス会社	
池田町役場	0778-44-6000	電話 NTT 西日本 (故障修理など)	113 又は 0120-444-113
かかりつけの医療機関		水道 町の指定給水装置 工事事業者 (池田町ホームページ参照)	

## ◇ わが家の連絡先

家族の名前	会社・学校の連絡先	携帯電話	メールアドレス	血液型
				型
				型
				型
				型
				型
				型

## ◇ 安否確認方法

### 災害用伝言ダイヤル (171)

災害用伝言ダイヤル (171) は、災害時に NTT より提供される「声の伝言板」です。  
使用方法を知っておきましょう。(※サービス開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます。)

伝言の録音	171 ▶ 1 ▶ 被災した家の電話番号	伝言を入れる (30秒以内)
	ガイダンス (説明) が流れます。 被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。	
伝言の再生	171 ▶ 2 ▶ 被災した家の電話番号	伝言を聞く
	ガイダンス (説明) が流れます。 被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。	

※携帯電話でも、「災害用伝言板」が利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。  
※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。 ※毎月1日、15日に体験利用ができます。1度体験してみましょう。

### 災害用伝言板 (web171)

災害用伝言板 (web171) は、インターネットでできる災害用伝言板です。自分の安否情報を登録することができ、インターネットなどを通じて、登録された安否情報を家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。また、あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

災害用伝言板 (web171)

<https://www.web171.jp>